

基本施策5 環境学習の推進

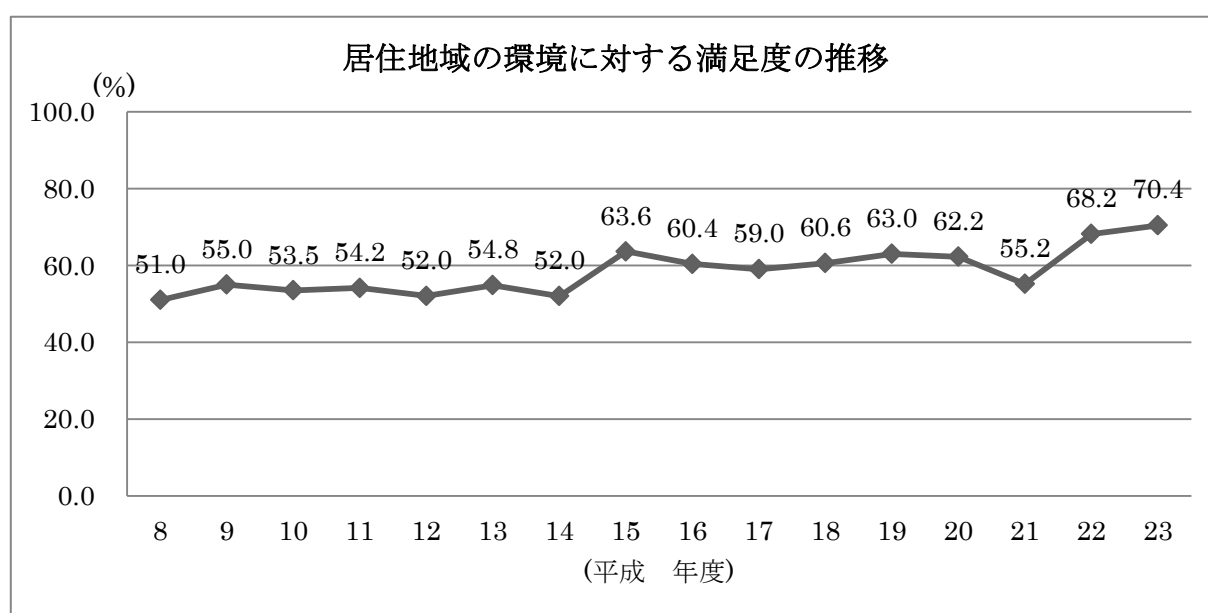
1 基本施策の構成

(1) 基本方針	自然とのふれあいなどを通して、環境学習を進めます。
(2) 個別施策	①学びの場づくり ②自然とのふれあい事業の推進 ③飯田市のイメージづくり及び情報発信 ④市民参加の推進
(3) リーディング事業	5-1 e・c・o☆キャンペーンの展開 5-2 みんなで考える いいだ環境物語

2 環境目標の達成状況

環境目標	平成23年度目標値	平成23年度実績値	達成状況
アメニティ目標	居住地域の環境に対する満足度評価の項目（5段階）の中で、「満足」・「やや満足」と答えた市民の割合が2/3以上	70.4%	◎

達成状況 ◎：目標達成で、改善傾向 ○：目標達成で、横ばい又は悪化傾向
 △：目標未達成だが改善傾向 ×：目標未達成で、横ばいまたは悪化傾向



エコライフ目標

	平成 13 年度	平成 18 年度	平成 23 年度		評価
エコライフ目標	実績値	実績値	目標値	実績値	
＜循環型まちづくり関係＞					
ごみを減らす工夫をしている	72%	73%	81%	78%	△
買い物時に買い物袋を持参する	39%	52%	60%	85% (H22)	◎
ごみの分別はきちんとやっている	96%	96%	98%	95%	×
環境に配慮した商品を買うようにしている	34%	27%	60%	37%	△
テレビや電灯はつけっぱなしにしないようにしている	75%	82%	85%	85%	◎
マイカーを使わずバス、電車などを利用している	11%	10%	25%	12%	×
＜意識づくり関係＞					
環境に配慮した生活を積極的にしている	47%	46%	80%	47% (H21)	×
＜緑豊かな美しいまちづくり＞					
なるべく自然にふれあうようにしている	31%	34%	75%	33%	×
水を大切に使うようにしている	74%	79%	85%	80%	×
地域の良い景観づくりに協力している	48%	55%	67%	72% (H21)	◎
＜安全なまちづくり関係＞					
油を流しに流さないようにしている	93%	93%	98%	91%	×
ビニールやプラスチックを燃やさないようにしている	85%	98%	100%	94% (H21)	×

達成状況 ◎：目標達成で、改善傾向 ○：目標達成で、横ばい又は悪化傾向

△：目標未達成だが改善傾向 ×：目標未達成で、横ばいまたは悪化傾向

※質問見直しの結果、H23 年度に聞いていない設問がある。

居住地域の生活環境に対する満足度は上昇し、目標の 67%を上回ることが出来ました。一方、エコ・ライフ目標については、多くの部分が未達成となっています。

3 各事業の実施状況

事務 事業名	食農教育推進事業	農業担い手誘致事業
担当課	農業課	農業課
全体 概要	生活形態や食習慣が変化し、食と農業のつながりが見えにくい時代の中で、農業人口は減少し、自給率も低水準に留まる事態となっています。そこで、次代を担う子供たちを対象にした食農教育を推進し、食を支える農業の役割についての理解を促すとともに、長期的な視野からは地域農業の担い手になってもらうことを期待します。教育委員会、各学校と連携し、授業で農業者や栄養士などを派遣した食農教育を行うとともに、児童生徒が地域に出て農業者等と交流しながら実体験できる場をつくります。	1 農業ワーキングホリデー事業 農業・農村に強い関心を持っている都市生活者等を、農繁期の人手を必要としている農家にて受け入れ、農業体験を通じて、新たな担い手確保のきっかけとする事業を行います。 2 南信州いいだ短期農業体験プログラム 新規就農者を十分確保できていない現状を踏まえ、特に飯田市で必要としている果樹の後継者を確保するため、果樹を作目としたい新規就農希望者に絞って参加対象者を募集し、農業体験プログラムを実施します。 3 農業担い手地育事業 農業に従事していない市民を対象に、農業の新たな担い手として誘導・育成をはかります。
実績	1 学校、保育・幼稚園における食農教育の支援 2 学校、保育・幼稚園における食農教育アンケートの実施 3 地域での食農教育支援体制作り 4 農園がない、または足りない学校等に利用可能農地を紹介する 5 教育機関に向けた農業体験学習実施の為に指針の提案 6 親子交流を目的とした農業体験の実施	1 新規就農促進事業 (1)農業ワーキングホリデー事業 春秋の期間集中実施、通年実施(2泊3日～1ヶ月程度) (2)南信州いいだ短期農業体験プログラム(3泊4日) ア 農作業体験、農家民泊、就農相談、地区農業者との懇談会 イ 開催時期 果樹の摘果(5月連休～6月中旬)と葉摘み(10月) 2 農家の後継者育成 (1)後継者への聞き取り調査 (2)後継者のネットワークづくり ※(1)(2)については対象地区を2地区選定 (3)社会人向け農業講座の開催
指標値	モデル校において食農教育体験活動を実施した時間数 90 時間	1(1)参加者数 424 人 期間集中実施回数4回 (2)実施回数2回 7人
決算額	291(千円)	921(千円)

事務 事業名	ツーリズム連携による地域農産物ファン創出事業	域産域消 公共施設等推進事業
担当課	農業課	農業課
全体 概要	南信州マーケティングショップにおける観光誘客マーケティングの一環として、ショップで人気の高い農産物の生産現場をステージにした収穫・食体験と農家交流をメインプログラムに「南信州の食」をテーマにした食育産地ツアーの試行を南信州観光公社と連携して実施しています。当ツアーは、適正原価を基にした料金設定で、交通費、体験料、土産代、手数料等が全て地元に着くことを基本とし、プログラムの充実を図ることで顧客満足度を高めることで格安ツアーとの差別化を図ることをコンセプトにしています。南信州マーケティングショップを起点とした募集・PRルートの開拓を行いツアーを実施している。なお、ショップは平成23年9月30日に閉店したが、開拓したルートを活用し継続した取り組みを進めています。	輸入農産物の増大、農産物の価格低迷が続く状況の中で、本市の自給率が停滞してきています。 本事業は地域の域産域消運動のリーディング事業として、公共施設給食を対象に地域農産物の供給利用を促進し、その供給に携わる多様な主体の連携により、地域内農産物を核とした経済の循環を促進することを目的とする。 当面は、学校給食を中心に、使用量が多く地域内生産が可能な米、にんじん、たまねぎ、じゃがいもの4品目を供給利用するための仕組みをつくりまします。
実績	1 産地ツアー(有料参加型)の実施 (1)ツアーの企画・募集 (2)プログラムの立案、受け入れ体制づくり 2 参加者アンケートの実施	1 にんじん、たまねぎ、じゃがいもの生産利用体制維持 (1)生産者を対象とした土作り・栽培学習会 (2)JA による矢高・丸山両共同調理場への直接納品体制の確立 2 小規模調理場の域産域消支援 小規模調理場と納入業者及び生産者との懇談会(上郷地区) 3 地元農産物の利用拡大 旬の食材の取扱検討 4 学校給食における地域食材の日の充実 各調理場において「地元食材の日」を設定 毎月19日は、食育の日
指標値	1 企画数 8ツアー 実施数 5ツアー 2 実施回数 5回	1(1)栽培学習会 1回 (2)JA 直接納品稼働期間 6～12月 2 納入業者懇談会2回 4 地元食材の日全ての学校で実施
決算額	200(千円)	0(千円)

事務 事業名	域産域消 事業者活動支援事業	南信州グリーン・ツーリズム推進事業
担当課	農業課	農業課
全体 概要	農畜産物の生産者、飲食店、ホテル、直売所など地場産業を担う農商業者が連携して、生活者へ南信州の食材を直接アピールすることにより、食の域産域消活動を推進させます。特に、生活者への提案力に優れている飲食業者の活動を支援することにより、生活者参加型の域産域消活動に展開を図ります。併せて、保健課が展開する食育推進活動とも連携し、相互の事業目的が達成できるように推進します。 ※関連事業→保健課：食育協力店と共に取り組む啓発活動	国の構造改革特区制度における規制緩和の特例を活かし、農村資源を活かしながら、農家民泊や市民農園など総合的なグリーン・ツーリズムを推進し、元気な地域づくりを支援します。
実績	1 域産域消推奨店(飲食店)の募集、選定 2 オリジナル看板の設置 3 域産域消推奨店の連絡会議(情報交換会)の開催 4 域産域消の食育店の協力により実施する生活者参加型イベントの開催 5 農業者が域産域消の食育店と協働で取り組む域産域消 PR 活動への支援	1 市民農園開設支援 (1)開設者及び希望者の相談受け入れ (2)市民農園紹介(ホームページや広報紙等各種媒体への情報の掲載) 2 農家民宿等におけるどぶろくの提供支援 (1)どぶろく提供施設のホームページや市広報紙等での紹介 (2)免許取得・製造技術指導等 3 農家民宿開業支援 新規開業希望者の開拓及び相談受け入れ
指標値	1 域産域消の食育店 参画飲食店 9店舗	1 市民農園開設相談 (1)相談受け入れ 4件 (2)市民農園紹介 2回 2 どぶろく提供施設紹介1回 3 農家民宿開業相談4件
決算額	448(千円)	0(千円)

事務 事業名	エコツーリズム推進事業
担当課	観光課
全体 概要	○ 環境省からエコツーリズム推進モデル地区(13地区)に指定され、「里地里山の身近な自然、地域の産業や生活文化を活用した取り組み」のモデルとして、平成16年度から18年度まで、事業を実施してきました。学習や取組を進める中で、観光を通じて地域の資源を資産化し、なお且つ地域保全への可能性への認識が広がり、取組を始める地域や個人が増加してきた。この事業が環境保全、経済効果、及び地域活性化等へつながるものとして期待されています。 ○エコツーリズムの効果は次のとおりです。 [1]環境保全:地域の自然環境・文化資源に対しては、それらの価値が維持されるよう保全され、または向上します。 [2]観光振興:観光業に対しては、新たなニーズに的確に対応し、新たな観光需要を起こすことができます。 [3]地域振興:地域社会に対しては、雇用の確保、経済波及効果、住民が地域に誇りを持つこと等により、地域振興につながります。 【新たな取り組み:山岳エコツーリズムの育成】 団塊の世代の登山者ブームに乗り、登山客やウォーカーが増えているため、山の保全と活用に向けた体制づくりが必要となっています。 そのため、「山岳エコツーリズムの育成事業」を2011活プロ重点事業として新たに加え、木曽山脈(摺古木山、安平路山)や南アルプスの登山者増に対応するため、登山者の動向把握、山岳資源の保全と活用のルール検討、ガイドの養成、登山コースの整備、登山案内所機能の整備、宿泊や交通等との連携により、自然保全と共に、地域の活性化につなげるための、基礎調査を行います。
実績	1 エコツーリズムを推進する地域・団体・人材の発掘、支援や普及 2 エコツーリズムに関する研修会(エコツーリズムカレッジ)の実施 3 山岳エコツーリズムの育成 (1)登山者、観光客数の動向実態基本調査 (2)登山案内拠点(梨元ていしゃば)の試行的設置 (3)登山者ウォーカーへの情報発信(ちらし、HP、ブログ) 4 地域認証制度の研究事業
指標値	1 推進、支援1式 2 エコツーリズム研修会の開催 2回 3山岳エコツーリズム (1)登山者数計測器設置4ヶ所 (2)登山案内拠点の管理運営1式 (3)登山者へのちらし作成 5000 部 4 地域認証制度の調査研究1式
決算額	8,098(千円)

事務 事業名	体験教育旅行を含む体験型観光推進事業	学校給食における域産域消推進事業
担当課	観光課	学校教育課
全体 概要	・体験教育旅行の受入れ農家に対する説明会や反省会の開催を通じて、受入れ側の質の向上を図る。 ・受入れの関係団体や個人の学習会の場を設け、インストラクターの質の向上を図る。 ・都市と農山村の共生・対流の推進。学生を対象とした体験プログラムを社会人に対しても提案していく。(都市農村共生対流推進事業からの移管)	1 飯田下伊那で生産された農畜産物等の学校給食食材としての利用を促進します。 2 地元野菜主要三品目の新納品システム導入により利用率を向上します。 3 農業課の『域産域消 公共施設等推進事業』と連携して展開します。 4 学校給食で使用する農畜産物を食育教材として活用し、児童生徒が地域食材の「旬」や郷土の「食」に関心を寄せ、地球環境について考える機会とします。
実績	1 体験教育旅行の受入れ農家を対象とした研修会 2 インタープリター養成講座 (1)桜守ガイド (2)自然歴史環境 3 簡易宿所資格取得促進業務 4 体験型企业研修プログラム企画、宣伝	1 地域農畜産物 100%利用した学校給食の提供の日を設定 1調理場1回以上 2 地域産農産物 10 品目を中心として利用促進 3 地域産農畜産物の利用率向上のための仕組みを検討し、生産者等関係者による現在の納品システムについて事業評価の実施 4 域産域消について『飯田市食育推進計画』に基づいた学校給食調理場職員による食育の推進 5 丸山共同調理場における地元農家との連携による地元産材使用と食育の推進
指標値	1 開催数 19回 2 講座の種類2種 (1))開催数3回 (2))開催数6回 3 資格取得件数 10 件 4 営業先 19 箇所	1 地元食材を 100%使った給食回数 8 回 3 域産域消に向けた関係課・関係者との会議数 4 回 4 調理場職員による食育推進のための延べ組件数 600 回 5 丸山共同調理場での地元産材利用の打合会 3 回
決算額	972(千円)	192(千円)

事務 事業名	総合教育支援事業	家庭教育推進事業(社会教育)
担当課	学校教育課	生涯学習・スポーツ課
全体 概要	1 飯田で育った若者が郷土に定着するため、地域と学校が連携し、郷土飯田に誇りを持ち「郷土愛」を育む学習、地育力を活かした産業・歴史・文化を知る学習、環境学習など地育力を活かした学校独自で取り組む学習を支援します。 (1)郷土愛を育む学習のための教育事業 (2)地域の産業・歴史・文化を学ぶための教育事業 (3)感動が得られる実践学習のための教育事業 (4)環境学習、農業体験、職場体験など学校独自で取り組む総合学習	○親子体験講座の開催 体験活動を中心に、親子による自然体験、地場産業体験、環境学習等を行います。 ○子育てパワーアップ講座の開催 子育て世代が自分の子育てを見つめたり、違った視点から子育てについて考える機会として、子育て講座を行います。
実績	1 環境教育や農業体験、職場体験など学校独自で取り組む総合学習のための支援	1 親子体験講座の開催 第1回 8/2 エコハウスで夏休み親子体験講座 5組 14人 第2回 10/21 親子体験講座『職人さんへ入門』 3講座:絞り染め 5組 11人、裂き織 2組 4人、 座布団づくり 3組 7人 2 子育てパワーアップ講座の開催 (1)第1回 7/2(土)「家庭が育む生きる力と学力」 (2)第2回 9/3(土)「三四郎流絵本の楽しみ方」 (3)第3回 10/8(土)「子どもの心根を感じよう」 (4)第4回 10/28(金)(昼夜2回)「親もにっこり・子どももにっこりのコミュニケーション」 (5)第5回 11/26(土)「子どもをらくらく伸ばす親力とは」 兼 PTAわが家の結いタイム担当者研修会 (6)第6回 1/21(土)「与える者は与えられる」 ※(1)(5)兼PTAわが家の結いタイム担当者研修会
指標値	補助対象学校数 28校	1 開催数 4回 講座受講者数 36人 2 講座受講者数 6回 (1)参加者数 51人 (2)参加者数 105人(親子参加) (3)参加者数 34人 (4)参加者数 62人 昼の部 26人 夜の部 36人 (5)参加者数 115人 (6)参加者数 170人
決算額	2,434(千円)	710(千円)

事務 事業名	教育普及事業
担当課	美術博物館
全体 概要	1 美術博物館の調査研究活動の中で蓄積された研究結果や情報、展覧会などで展示される作品や資料について、その特性や魅力を講座・講演会などで紹介します。 2 子ども向けの講座・教室・学校訪問などを実施し、伊那谷の自然と文化への学習意欲を高めます。 3 小中高校・大学・かわらんべ・地域のまちづくり委員会・地域サークルなど諸機関・諸団体の要請に応え、授業や講演・現地案内などを行います。 4 伊那谷の希少生物生息地・露頭・遺跡・社寺・歴史・民俗などの保存と活用に関する事業を行います。具体的には飯田城址の歴史的景観の研究と整備、ハナノキ湿地希少植物群落の調査と整備、南アルプス(中央構造線エリア)ジオパークの研究と整備を地域住民と共同しながら実施します。
実績	1 館主催の事業 (1)一般向けの催し(美博特別講座・自然講座・文化講座・美術鑑賞の会・講演会・見学会・研究活動報告会・自然史発表会など)を開催。 (2)子供向けの催し(科学工作教室・子ども美術学校・宇宙をのぞこう・親子天文教室・夏休み自然相談教室など)を開催。 2 館主催以外に館ないしは学芸員が館内外で参加・支援した事業(地域や団体の事業、学校の授業・学会発表など)の開催。 3 第6回美博まつりの開催(7/30・31) 4 第4回びはく学芸祭の開催(11/20) 5 美博小中高校生写真賞の開催(募集・表彰) 6 南アルプス(中央構造線エリア)ジオパーク内に屋外解説パネルを設置。〈新規、合併特例補助金対象事業〉 遠山地域の自然の魅力や災害の教訓、山村の知恵などを、観光客や地域住民に正しくかつ分かりやすく紹介するために、屋外解説パネルを設置する。 7 美博利用ガイド『びはくへ行こう』の作成・配布
指標値	1 205 回／6,274 人 2 164 回／7,047 人 3 2 日／2,208 人 4 1 日／110 人 5 51 点 6 3箇所 7 150 部
決算額	4,244(千円)

事務 事業名	郷土学習支援事業
担当課	公民館
全体 概要	・各公民館で郷土の歴史・文化・自然を学び、知ることにより自分たちの郷土に対して愛着を持てるように、学級講座を開催します。 ・H19には、5回目となる郷土日本画家遺作展を開催します。(市制70周年記念事業) ・市民大学講座を開催します。(市民ボランティアによる実行委員会形式による企画・運営。) ★地区公民館が従来から展開してきた当該事業は、H2 からは、各地区の住民が地域で学び交流できることを主目的と整理して学習交流推進事業へ位置づけます。
実績	1 学級・講座、現地研修等郷土学習活動の実施 【橋北】橋北ふれあいウォークラリー大会他 【橋南】橋南史跡ウォーキング、橋南ウォークラリー大会他 【羽場】羽場ふれあいウォーキング、乗って学ぶ飯田線他 【丸山】水引体験教室、みちくさウォーキング他 【東野】文化の路探訪会 【座光寺】ふるさと再発見講座、座光寺の歴史を学ぶ講演会 【松尾】36 災を語り継ぐ～36災から50年～他 【下久堅】ひさかた和紙講座、下久堅地区新年の会他 【上久堅】上久堅を学ぶ会、南信州狼煙リレー 【千代】ふるさと講演会 【龍江】龍江ふるさと探検、ふるさと再発見講座他 【竜丘】古墳を考える会、古墳まつり他 【川路】歴史文化セミナー、劇団カネト公演 【三穂】伊豆木人形の継承 【山本】山本学講座 【伊賀良】ふるさとゲームウォーキング、伊賀良を学ぼう他 【鼎】地育力向上講座「ずんずんず～ん隊」、古文書講座 【上郷】上郷歩こう会 【上村】小学生霜月祭横笛教室、文化財神祠碑等調査 【南信濃】お茶講座、霜月祭面づくり講座 【市公】市民大学講座
指標値	講座等開催数 205 回 延べ参加者数 6,668 人
決算額	900(千円)

事務 事業名	教育普及事業
担当課	美術博物館
全体 概要	1 美術博物館の調査研究活動の中で蓄積された研究結果や情報、展覧会などで展示される作品や資料について、その特性や魅力を講座・講演会などで紹介します。 2 子ども向けの講座・教室・学校訪問などを実施し、伊那谷の自然と文化への学習意欲を高めます。 3 小中高校・大学・かわらんべ・地域のまちづくり委員会・地域サークルなど諸機関・諸団体の要請に応え、授業や講演・現地案内などを行います。 4 伊那谷の希少生物生息地・露頭・遺跡・社寺・歴史・民俗などの保存と活用に関する事業を行います。具体的には飯田城址の歴史的景観の研究と整備、ハナノキ湿地希少植物群落の調査と整備、南アルプス(中央構造線エリア)ジオパークの研究と整備を地域住民と共同しながら実施します。
実績	1 館主催の事業 (1)一般向けの催し(美博特別講座・自然講座・文化講座・美術鑑賞の会・講演会・見学会・研究活動報告会・自然史発表会など)を開催。 (2)子供向けの催し(科学工作教室・子ども美術学校・宇宙をのぞこう・親子天文教室・夏休み自然相談教室など)を開催。 2 館主催以外に館ないしは学芸員が館内外で参加・支援した事業(地域や団体の事業、学校の授業・学会発表など)の開催。 3 第6回美博まつりの開催(7/30・31) 4 第4回びはく学芸祭の開催(11/20) 5 美博小中高校生写真賞の開催(募集・表彰) 6 南アルプス(中央構造線エリア)ジオパーク内に屋外解説パネルを設置。〈新規、合併特例補助金対象事業〉 遠山地域の自然の魅力や災害の教訓、山村の知恵などを、観光客や地域住民に正しくかつ分かりやすく紹介するために、屋外解説パネルを設置する。 7 美博利用ガイド『びはくへ行こう』の作成・配布
指標値	1 205 回／6,274 人 2 164 回／7,047 人 3 2 日／2,208 人 4 1 日／110 人 5 51 点 6 3箇所 7 150 部
決算額	4,244(千円)

事務 事業名	環境学習推進事業(旧環境調査員活動事業)
担当課	環境課
全体 概要	環境調査員活動事業 1環境調査員(環境チェッカー)とは:平成6年度から実施しており、調査員は2年任期。各小中学校推薦の児童生徒と各地区の推薦又は応募による大人110人以内を委嘱し、市内の身近な自然環境調査活動を実施する 2 チェッカーの行うこと:(1)指標動植物(45種)について市内の生息調査を行って生息状況を把握し、環境課に報告。(2)上記以外の市から依頼される調査について報告。(3)市の行う学習会等に参加 3 市の行うこと:(1)指標動植物(45種)を定めチェッカーによる市内の生息調査を行って生息状況を把握し、調査結果を環境保全活動などの資料として活用。(2)随時自然観察会や環境学習会を開催し、チェッカーの環境保全意識の高揚を図る
実績	1 環境調査員(環境チェッカー)による指標動植物調査の実施 2 指標動植物の確認と記録、報告を年3回(7月末、10月末、1月末)実施 3 調査活動の正確性をより高めるため、事前に調査員に対して調査活動を行うにあたっての研修を行う 4 環境調査員レベル向上のための自然観察会(自然観察会、水生生物観察会)実施 5 こどもエコクラブの通知送付、キット配付
指標値	1 参加者数 108人 2 報告件数421件 3 開催数 2回 4 開催数 1回 5 回数 1回
決算額	403(千円)

事務 事業名	地域環境活動支援事業(旧環境情報発信事業)	天竜川総合学習館管理運営事業
担当課	環境課	建設管理課
全体 概要	①地域における市民、グループ団体、事業者などの自主的な環境活動を推進するための参考資料として、環境に関わる情報を、広報いいだやチラシを活用した情報提供やホームページの作成を行い広く公開していきます。 ②地域における環境保全活動推進のため、環境アドバイザー制度(登録期間は2年間。20年度当初登録者数は10人)を活用した情報提供と環境意識の啓発を図ります。	天竜川治水対策事業の整備にあわせて、河川防災拠点施設とともに、天竜川などの河川環境や自然環境学習の場として建設されている天竜川総合学習館の施設管理及び学習講座の企画運営を行う事業です。 天竜川の災害や自然環境の展示や企画展示をおこない、一般観覧者に対応すると共に、週1～2回の講座開催による環境等の学習の推進や、小中学校などの総合学習の場としても積極的に活用していただき、河川やこの地域の自然・環境・歴史・文化などを題材にした生涯学習の推進を図る事業です。
実績	1 環境情報発信事業 (1)広報いいだ、ホームページなどを活用し環境に関する情報発信 (2)環境施設視察 2 環境意識啓発事業 (1)環境アドバイザー制度の活用、講師派遣 (2)環境フェアの開催	1 かわらんべ講座の開催 (1)小中学生・一般を対象にした、自然環境学習講座の開催 (2)幼児向け講座の開設(親子で自然に親しむ講座の開催) (3)成人市民を対象にした、自然環境学習講座の開催 (4)河に親しむ講座の開催 2 総合学習(学校等)への対応 3 来館者への対応(講座参加者、総合学習利用者、施設利用及び市民以外の来館者を含む)
指標値	1 環境情報発信事業 (1)情報発信数 26 回 (2)実施回数1回 2 環境意識啓発 (1)派遣回数 86 回 (2)開催回数1回	1 講座開催数 105 回 2 来園、来校回数 76 回 3 来館者数 25,688 人
決算額	817(千円)	8,515(千円)

事務 事業名	環境学習支援事業	森林公園維持管理事業
担当課	公民館	林務課
全体 概要	全市民を対象とした身近な自然とのふれあいから、地球環境問題まで、幅広い環境をテーマにした講座等を実施します。	野底山森林公園を適切に維持管理を行うための事業(施設の管理・清掃、除草作業、花木の剪定・伐採、遊具修繕、施設点検、施設改修等)です。
実績	1 学級・講座、講演会等環境学習活動の実施 【橋北】北斗のまち・さわやか講座 【橋南】環境講座「エコな暮らしを楽しもう」他 【羽場】水辺の生物を観察しよう、田んぼ活動他 【丸山】春の探鳥会、風越山と暮らしを考える講座 【東野】電動自転車体験事業、山菜取り勉強会 【座光寺】ほたる観察会、さとやま体験他 【松尾】ラフティング体験教室 【下久堅】水辺の昆虫観察会 【上久堅】上久堅を学ぶ会 【千代】千代峠交流会、千代ウオーキングマップ活用事業 【龍江】アレチウリ退治とラフティング、龍江ふるさと探検他 【竜丘】水辺の楽校、ふるさと学習会他 【川路】学友林学習事業 【三穂】三穂の自然探訪、ふるさとめぐり三穂 【山本】チョウのお話と観察会 【伊賀良】森林講座、伊賀良を学ぼう～フォーラムの樹木を学ぶ～他 【鼎】鼎打ち水大作戦 【上郷】野底山の森林教室 【上村】野鳥観察会、星空観察会 【南信濃】ブッポウソウ保護活動、夏休み子ども講座	1 日常の花木剪定・伐採、公園清掃、公園管理等業務委託 2 公園内の整備・施設改修等の工事（緊急雇用対策を含む） 3 バイオトイレの点検料及び維持管理(修繕)費用 4 駐車場トイレ改修工事 14、133 千円
指標値	講座等開催数 77 講座 延べ参加者数 4,029 人	1 業務契約数3業務 2 実施した契約の数 4業務 3 施設数1カ所 4 施設数 1カ所
決算額	398(千円)	27,606(千円)

事務 事業名	緑の少年団支援事業	林間学校等施設管理運営事業(大平)
担当課	林務課	学校教育課
全体 概要	市内6小学校(緑の少年団)への活動補助事業です。 千代小学校・千栄小学校・上久堅小学校・三穂小学校・上村小学校・和田小学校にて実施。	大平林間学校の施設管理事業です。
実績	市内6小学校(緑の少年団)への活動補助 (千代小学校・千栄小学校・上久堅小学校・三穂小学校・上村小学校・和田小学校)	1 維持管理 (1)電気代、施設修理修繕 ①給水管修理、排水管修理、硝子破損修理、 屋根外壁修理、内装修繕、外構修繕、 その他修理修繕 (2)汚物汲取手数料、建物保険、 給水ポンプ点検清掃、施設用地借地契約
指標値	活動回数 67 回	維持管理費 333 千円
決算額	300(千円)	256(千円)

事務 事業名	林間学校等施設管理運営事業(姫宮)	環境計画進行管理事業
担当課	学校教育課	地球温暖化対策課
全体 概要	姫宮林間学校の施設管理事業です。	平成 24 年度に改訂施行を予定している「21 いいだ環境プラン」について、23 年度中に現行のプランの内容の大幅な見直しを行い、23 年度末に、第3次改訂版として発行します。 23 年度中は、現行のプランの進行管理を行うとともに、改定後には、新たに策定した環境プランの進行管理を行います。
実績	1 維持管理 (1)管理運営電気代、施設修理修繕 ①給水管修理、排水管修理、硝子破損修理、屋根外壁修理、内装修繕、外構修繕、その他修理修繕 (2)汚物汲取手数料、建物保険、給水ポンプ点検清掃、施設用地借地契約	1 環境プラン第2次改定版の進行管理 (1)環境審議会への進行状況の報告 (2)環境レポートの作成と公表 (3)温室効果ガス排出量の把握 2 第3次改定の環境プラン作成 (1)市民会議や環境審議会への進行状況の報告 (2)議会への報告・パブリックコメント
指標値	維持管理費 360 千円	(1)1回 (2)1件・1回 (3)全市分1件 2(1)5回 (2)市議会3回 パブコメ1回
決算額	282(千円)	630(千円)

事務 事業名	環境保全推進事業	伊那谷自然資料調査研究保管事業
担当課	地球温暖化対策課	美術博物館
全体 概要	環境保全推進事業を行います。内容は次のとおりです。 ・環境政策を的確に行うための環境審議会運営 ・環境政策を行うための事務的一般経費 ・環境首都コンテストを通じて発足した中部環境先進5市(多治見市、安城市、新城市、掛川市、飯田市)のTASKIプロジェクトに参加し相互に情報交換を行い、環境保全の推進に取り組む。	1 この事業は、飯田市美術博物館において、伊那谷の自然に関する資料および情報の継続的な収集、整理、保管、研究活動を行うものです。 2 その中には、地域の自然を研究対象としている研究者への支援と成果を発表する印刷物発行事業を含んできます。 3 コレクションの受入れ整理し、保存をします。
実績	1 環境審議会の運営 2 環境保全一般経費 (1)事務用機器借上げ	1 伊那谷の自然史に関する調査・研究、資料整理を実施し、成果を企画展や教育普及活動で利用する 2 未整理未登録資料のマウントと登録を推進する 3 地域研究者(団体)への研究支援を行う 4 大学・学会など研究機関(信州大学ほか)との連携事業を実施する 5 伊那谷自然史論集を発行する 6 学会などでの研究成果の発表を継続して実施する 7 南アルプス関連調査実施 8 原道夫鱗翅目コレクション(約 25000 点、標本箱 160 箱)の寄贈受け入れ。
指標値	1 開催数6回 2(1) 借り上げ機器数1台	1 野外でののべ調査日数 91 日 2 登録資料数 7437 点 3 研究協力者数 11 件 4 研究機関との連携数 6 件 5 自然史論集論文数 9 本 6 学会等研究発表回数 9 回 7 南アルプスののべ調査日数 30 日 8 井原コレクションの資料数 160 箱
決算額	709(千円)	10,638(千円)

事務 事業名	伊那谷文化史資料調査研究保管事業	中山間地域振興プロジェクト事業(下栗モデル)
担当課	美術博物館	上村自治振興センター
全体 概要	1 伊那谷の人文に関する資料及び情報を継続的に収集、整理、保管、研究活動を行う。 2 調査活動は「飯田市地域史研究事業」の一環として位置づけ、その成果を特別展や特別陳列、図録や報告書、映像等で還元する。	庁内関係部署が連携体制を組み、中山間地域振興計画に基づくプロジェクト事業を実施します。 人口減少が進み、地域の担い手が高齢化する中山間地域の象徴的な課題が顕在化している上村地区の活性化を目的に、人の暮らしと厳しい自然環境がかたちづくる、全国的にも貴重な景観と文化を有している「下栗地区」を重点対象地域とした中山間地域振興のモデルとなる取り組みを行います。 下栗の景観と暮らしの文化を保全し、その価値を市民の財産として後世に伝え、そこに暮らす人々の生活を守るために下栗自治会が行う「下栗の修景と生活文化保全計画」策定を支援する。その後、下栗住民による長期的な取り組みになることをめざし、23年度に「下栗憲章」(修景計画に基づく地域の申し合わせ)を制定し、担い手として内外から「下栗応援団」を募り、事業を計画的に推進します。 計画策定に併行して、課題が顕在化している鳥獣被害対策、農産物のブランド化、里山整備、エコツアーリズムの推進等を新たにセットし、総合的に支援しながら、下栗のブランド力を高める。
実績	1 調査研究 社寺調査・民俗調査・関連史料の調査。特に「飯田上飯田」の民俗調査を継続してまとめ、翌平成24年度前半期の報告書刊行を目指す。 2 資料の収集 資料の寄贈受入および購入 3 資料の修復・保管・整理 貴重な資料を修復する 4 出版事業 安東菊子日記・柳田國男資料目録・山本七久里神社裸祭りDVDを刊行する 5 写真・映像の収集保管	修景計画策定後、これに基づき具体的な事業実施に取り組む。また、修景計画と関連し下栗上部にある「上の平公園」の活用プランについて下栗自治会の研究を開始する。 下栗応援団の組織化をすすめ、遊休荒廃農地の耕作を拡大する。また、エコツアーを推進する。
指標値	1 調査の件数 20 件 2 寄贈受入・購入した資料の数 2件 3 修復した資料の数 0点 4 刊行した印刷物・映像の数 3件 5 撮影・デジタル化した寄資料数 3件	1 下栗、応援団8者 2、遊休荒廃農地の耕作 1,720 m² 3、ツアーガイド 10 人
決算額	5,917(千円)	0(千円)